

3-①	にほんご 日本語	話す
◆日本語を覚 ^{おぼ} えるために何をしていますか。		
□毎 ^{まいにち} 日、日本語の勉 ^{べんきょう} 強 ^{きやう} しています。		
□毎日、たくさん宿 ^{しゅくだい} 題 ^{だい} をしています。		
□いつも、辞 ^{じしょ} 書 ^{しょ} で言 ^{ことば} 葉 ^は を調 ^{しら} べています。		
□休 ^{こくさいこうりゆうきやうかい} みの日 ^に に、国 ^{にほんごきやうしつ} 際 ^{かい} 交 ^{かい} 流 ^{りゆう} 協 ^{きやう} 会 ^{かい} の日 ^に 本 ^{にほん} 語 ^ご 教 ^{きやう} 室 ^{しつ} に行 ^い っていま ^ま す。		
□日 ^{にほんじん} 本人 ^の の友 ^{とも} だちとたくさん話 ^{はなし} をしていま ^ま す。		
□家 ^{いえ} で、日 ^{にほん} 本の ^{てれび} テレ ^を ビ ^を を ^み ていま ^ま す。		
◆あな ^つ たが、日 ^{にほんご} 本 ^ご 語 ^を を使 ^{つか} ってで ^で きる ^{こと} は ^は 何 ^{なに} で ^で す ^か 。		
□あ ^あ い ^い さ ^さ つ ^つ を ^を す ^す る ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□病 ^{びやうき} 気 ^き の ^{とき} 時 ^に 、先 ^い 生 ^{せい} に ^い 言 ^い う ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□日 ^{にほんじん} 本人 ^の の友 ^{とも} だちと電 ^{でんわ} 話 ^わ で ^で 話 ^わ す ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□日 ^{にほんじん} 本人 ^の の友 ^{とも} だちとメ ^ま ール ^る を ^を す ^す る ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□テ ^{てんきよほう} レ ^{りかい} ビ ^{かい} の ^{りかい} 天 ^{てん} 気 ^き 予 ^よ 報 ^{ほう} を ^を 理 ^り 解 ^{かい} す ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□歌 ^{うた} を ^を 歌 ^う う ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□家 ^{かぞく} 族 ^{ぞく} の ^{つうやく} 通 ^{つう} 訳 ^{やく} を ^を す ^す る ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□自 ^{じぶん} 分 ^{ぶん} の ^{きもち} 気 ^き 持 ^{もち} ち ^を を ^を 話 ^わ す ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□授 ^{じゆぎやうちゆう} 業 ^{ぎやう} 中 ^{ちゆう} 、発 ^{はっ} 表 ^{びやう} を ^を す ^す る ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		
□一 ^{ひとり} 人 ^り で ^で 旅 ^{りょこう} 行 ^{こう} を ^を す ^す る ^{こと} が ^が で ^で き ^ま す ^す 。		

3-②	日本語	読む
<p>日本<small>き</small>に来た時<small>とき</small>、私<small>わたし</small>は日本語がまったく分<small>わ</small>かりませんでした。日本語を覚<small>おぼ</small>えるために、私<small>わたし</small>は、毎日<small>まいにち</small>国際教室<small>こくさいきょうしつ</small>で日本語の勉<small>べん</small>強<small>きょう</small>をしています。家<small>いえ</small>でも、日本語の宿<small>しゅく</small>題<small>だい</small>をしています。</p> <p>今、私<small>わたし</small>は、4年生<small>かんにん</small>の漢字<small>かんじ</small>の勉<small>べん</small>強<small>きょう</small>をしています。日本語で、テレビ<small>てんきよほう</small>の天<small>てん</small>気<small>き</small>予<small>よ</small>報<small>ほう</small>を理<small>り</small>解<small>かい</small>することができま<small>す</small>。友<small>とも</small>だちと電<small>でん</small>話<small>わ</small>で話<small>わ</small>すことができま<small>す</small>。</p> <p>日本語の勉<small>べん</small>強<small>きょう</small>は、とても楽<small>たの</small>しいです。</p>		
<p>僕<small>ぼく</small>は、6ヶ月前<small>ろかげつまえ</small>に日本<small>に</small>来<small>き</small>ました。日本<small>に</small>来<small>き</small>た時<small>とき</small>、僕<small>ぼく</small>は日本語が「ありがとう」と「さようなら」しか、分<small>わ</small>かりませんでした。</p> <p>日本語を覚<small>おぼ</small>えるために、僕<small>ぼく</small>は毎日<small>まいにち</small>、新<small>あたら</small>しいことばを十個<small>じゅうこ</small>、覚<small>おぼ</small>えることを決<small>き</small>めました。分<small>わ</small>からないことばは、友<small>とも</small>だちに聞<small>き</small>いたり、辞書<small>じしょ</small>で調<small>しら</small>べたりしま<small>す</small>。</p> <p>毎週<small>まいしゅう</small>土曜日<small>どようび</small>は、国際交流協会<small>こくさいこうりゅうきょうかい</small>の日本語教室<small>にほんごきょうしつ</small>へ行<small>い</small>っています。</p> <p>先週<small>せんしゅう</small>の日曜日<small>にちようび</small>、国際交流協会<small>こくさいこうりゅうきょうかい</small>で日本語スピーチコンテストがありました。僕<small>ぼく</small>もスピーチをしま<small>し</small>た。とても緊<small>きん</small>張<small>ちやう</small>しま<small>し</small>た。でも、上<small>じょう</small>手にスピーチができて、嬉<small>うれ</small>しかったです。</p>		

3-③	日本語	書く
日本に ^き 来た ^{とき} 時、()は日本語がまったく ^わ 分かりませ		
んでした。日本語を ^{おぼ} 覚えるために、()は、 ^{まいにち} 毎日		
()。		
今、()は、()年生の ^{かんじ} 漢字の ^{べんきょう} 勉強をしていま		
す。日本語で、()		
ことができます。()ことができます。		
日本語の ^{べんきょう} 勉強は、とても(※)です。		
※おもしろい、やさしい、おずかしい、つまらない、たいへん		

◆ ^{じぶん} 自分で ^{かんが} 考えて、 ^か 書きましよう。